



平成18年8月30日

各位

会社名 モロゾフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川喜多 佑一
(コード番号 2217 東証・大証第1部)
問合せ先 代表取締役副社長 松村 有芳
(TEL. 078-822-5000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本年3月28日の決算発表時に公表した平成19年1月期中間期(平成18年2月1日~平成18年7月31日)及び通期(平成18年2月1日~平成19年1月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成19年1月期中間業績予想数値の修正(平成18年2月1日~平成18年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年3月28日発表)	12,500	250	250
今回修正予想(B)	12,700	300	40
増減額(B-A)	200	50	290
増減率(%)	1.6	20.0	-
(ご参考) 前期実績(平成18年1月期中間)	12,092	154	148

(金額の単位:百万円)

2. 平成19年1月期通期業績予想数値の修正(平成18年2月1日~平成19年1月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年3月28日発表)	25,300	500	50
今回修正予想(B)	25,500	500	150
増減額(B-A)	200	0	100
増減率(%)	0.8	0.0	200.0
(ご参考) 前期実績(平成18年1月期)	24,866	344	191

(金額の単位:百万円)

3. 修正の理由

当中間期の売上高につきましては、干菓子については長梅雨等の天候不順の影響を受け夏季商品は予想を下回る結果となりましたが、バレンタイン商戦、ホワイトデー商戦が品揃えの強化や販売拠点の拡充により大幅な増収を達成するなど総じて好調に推移しました。洋生菓子についてはご好評いただいている半生菓子の売上続伸に加え、期間限定の新商品を積極的に投入し拡販に努めてまいりました結果、ほぼ前期並みの売上高を確保しました。その結果、当中間期の売上高は前回発表予想よりも200百万円程度上回る見込みとなりました。

損益面につきましては、原材料費の上昇や外注加工費の増加による売上原価の高止まりはありましたが、増収に加え、人事制度の見直し、六甲アイランドオフィスへの集約等による固定費の削減効果により、経常利益は当初予想を上回る見込みとなりました。当期純利益につきましては、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う減損損失の計上はありましたが、業績好転に伴う税効果会計の影響により、当初予想を290百万円程度上回る見込みとなりました。

通期業績の予想につきましては、売上高は上半期の増加分の影響を考慮し、25,500百万円に上方修正致します。今後は、お客様のご愛顧に感謝する創業75周年キャンペーンの実施、主力商品、イベント商品のさらなる強化により着実な売上獲得を図るとともに、生産ラインの集約と効率化による製造原価の低減、構造改革の継続によるコスト圧縮により、経常利益500百万円、当期純利益150百万円の確保に注力する所存であります。

以 上